

■あんぜん かんけい せんもんきゅう がっかしけんもんだい こうひょう  
よう

1. ( ) かんぱん (でつき) では かならず さぎょうようきゅうめいい (らいふじゃけつと) を きて へるめつとを かぶる。
2. ( ) たかい ところや ふねの そとで さぎょうするときに いのちづなを つける ひつようはない。
3. ( ) かんぱん (でつき) で さぎょうするときに さんだるを はいても もんだいない。
4. ( ) ふねの なかは せまく ゆれるので、 あしもとや あたまの うえに ちゅういする。
5. ( ) あかの まーく (しるし) のある ばいふは のめる みずを しめしている。
6. ( ) さぎょうに なれた ひとは、 きけんな さぎょうを ひとりで おこなえる。